

芸術の春です～夜間制の校外学習

4月23日（金）夜間制の生徒全員が、茨城県近代美術館で絵画を鑑賞しました。毎年行われている校外学習です。30数名の生徒が、広い館内を主に2班に分かれて鑑賞しました。私（校長）は、企画展「日本画の150年～明治から現代へ～」を最初に観る班についていきました。生徒は、明治初期の横山大観の作品などに見入っていました。正直に言いますが、こんなに熱心に1枚1枚鑑賞する様子を予想していなかったもので、驚きとともにとても感心しました。企画展内では、私の方が先に進んでしまいました。日本画の絵の具で描かれるテーマが、時代とともに多種多様になっていく様子がよくわかりました。館内の写真撮影は難しかったので、1階の入り口前と最初の説明会場で生徒を撮りました。

4月10日（土）～15日（木）には、ザ・ヒロサワ・シティ会館で「第48回 日本の書展」が開催され、本校通信制の川野邊先生からご案内葉書をいただき、13日に鑑賞しました。日本を代表する書家の作品がずらっと並び、川野邊先生の作品は茨城書壇招待作家展に展示されていました。「興亡百変すれども物は自ずから閑なり」蘇軾の詩です。桜、新緑、絵画、書、美しいものを観る春になりました。

